



テレビのトーク番組に西田敏行さんが出演していました。人生を丁寧に大切に生きているのが 僅か30分の番組から伝わり、見終えた後に感動すら覚えました。表情・話し方・言葉使いから、周囲の人を大切に思う深い気持と優しさが痛い程伝わってきました。話す内容に何度も笑い話す表情に何度も胸が熱くなりました。どれだけの艱難辛苦を乗り越えてきた人なのでしょう。(凄すぎる!) 彼の様な笑顔と安堵を放てる人になりたいと思いました。心新たに、新学期がスタートしました。私達の持てるありとあらゆる感覚を使い、やり残しの無い仕上げの三学期にしてまいります。

春から
小学生



年長組は一日入学・ランドセルの講入・卒園式の歌……二月は小学校の先生の保育参観もあり、小学生を意識する毎日です。期待する子ども達が多いですが、不安な子ども達もいますので、お子様に心配な様子が見られましたら御連絡下さい。共に…お母様の不安もあると思います。小学校に入学したお子様の関わり方(ルポライター北村年子さんより)について触れておきますので迷った時に参考にして下さればと思います。☆子どもの短所や欠点を受け入れ「自尊心」が育つように接していきましょう。



今年も子ども達の愛らしいトークで始まりました。私「お正月にお餅食べた?」Iくん「お餅は食べなかったけどおしりこ食べた!!」私「お汁粉じゃない?」Iくん「おしりこだよ!!」私「……(笑)。」

そばにいるよ

H27年
2月2日

文責
木村 雅美

1) 新しい環境は緊張の連続です。子どもがイライラしていたら…
→ 事象ではなく、気持ちを聴いてあげて下さい。子どもの言葉をお母さんが繰り返してあげる事で、わかってくれた。と安心するでしょう。例えば
③「あのね、縄跳びが上手く跳べなかったの。」
④「縄跳びが上手く跳べなかったんだ。」と繰り返すだけです。

Iくんは、猛吹雪の朝に「今日はホワイトアウトだね。」と言って驚かせた語彙数豊富な年少さんです。天晴れ~!!(笑)。



冬休みの家庭学習 ありがとうございます

休み明けのドリルを見ると、子ども達は毎日コツコツと進めている様子がありました。幼稚園内で一番絵本を読んだお友達は年長組の田中優莉ちゃん(103冊)とおお晦日もお正月も読んでいて驚きました。楽しく読み進めてくれたのでしょうか。その話を聴いたKくんは日曜日に図書館に連れて行ってもらう21冊読んできました。その負けん気に拍手!! 又、休み明け逆立ち名人になったお友達は、これも全てご家庭のご理解とご協力がある事だと感謝致します。何事も一日では出来ません。毎日の積み重ねです。「努力すると必ず出来る」事を心と体が覚えていけば大きくなってからも困難に、恐れずに立ち向かっていくでしょう。



2) 放課後は子ども達だけで外遊びをするようになります。約束していた時間に遅れて帰宅したら…
→ 心配のあまり感情的に注意したくなりますが、その気持は抑えて、心配していた気持ちを伝えて下さい。そうすると次はどうしたら良いかを自分で考えられるようになります。例えば
⑤「お帰りなさい。遅かったね。心配していたよ。何かあったの?」 聴く態勢で迎えましょう。
3) お母さんは毎日忙しいです。疲れている時に宿題を手伝ってと言われたら…
→ 「ちょっと休んでからね。」と自分を優先にしてOKです。親がありのままの自分を認める事が大切で、その姿を見て自分を大切にすると子どもに育ちます。
☆子育ては、頑張り過ぎず「まっ、いいか。」位の気持で子どもと穏やかに接する事が大切であると話されていました。

完璧なお母さんなんていませんよね。かく言う私も失敗の連続。こうすれば良かったと反省ばかりです。失敗の経験から、若いお母さん達の不安を少しでも払拭できたらといつも考えています。こんな形での発信しかできませんが お手伝いしたいと常日頃思っておりますので、いつでも気軽に声を掛けて下さいね。勿論、卒園してからも…

